

民主党神戸市会議員団

活動報告

この1年の調査活動を振り返って

私たち民主党神戸市会議員団は、議会改革、医療、産業、まちづくりなど多岐に及ぶ課題の解決に向けて昨年4月から今年の2月までの約1年、調査活動や行政視察を実施して参りました。

ここに全てをご紹介することはできませんが、これらの活動を活かしながら、私たちは、協働と参画の精神のもと、市民のみなさまとともに「いのちとくらしを守る人間を大切に作るまちづくり」に引き続き取り組んで参ります。

今後とも、更なるご支援とともに市政へのご意見・ご要望を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

平成21年11月 八日市、愛知川、能登川図書館・滋賀県

まちづくり

滋賀県では、図書館を地域作りの拠点にしようという動きが活発です。歴史を掘り起こし、放っておけば消えてしまいかねない地域の情報を集め、「地域の核」になるべく様々な取り組みがなされています。人と人とをつなぐ核に、という強い思いで整備した図書館が住民に身近な存在となり、利用頻度が高まったことで、2008年の新聞各紙での報道によると、公共図書館の県民一人あたり図書貸し出し数が全国一位になったとのこと。



居心地のよい空間作りを主眼に、書棚は低くし開放感を感じさせるようにしてあり、週刊誌コーナーなどは職員と目が合わない角度に設けるなど利用者の居心地のよさに配慮しています。また、広い窓を設け、壁際はリアス式のようにパーソナルスペースが設計されていたり、手続きなしで気軽に使用できる和室コーナーなどもあります。図書館の将来あるべき姿を考えていく際にぜひ参考にしたい点が多々あり、実り多い視察でした。

平成21年12月 NPO法人那覇市街角ガイド・沖縄県那覇市

観光

NPO法人那覇市街角ガイドは、那覇市が主催した「那覇市街角ガイド養成講座」を受講し、那覇市街角ガイドに認定された人が集まり活動しています。登録者は97名ですが、60名前後が実際に活動しており、定年退職した人が多く、平均年齢は62～63歳で、歴史好き、話好きな人が多いそうです。「首里城コース」「壺屋・焼物博物館コース」などがあり、基本は事前予約で、料金は1時間半から2時間で3,500円ですが、常時10名が待機しておりその日でも対応してくれます。また、青少年の健全育成のため修学旅行生には安い料金で受け入れをしています。個人旅行へのニーズが高まる中、安価な値段で那覇の魅力を詳しく説明できる観光ガイドの需要が高まっていますので、より多くの人にPRしてこの街角ガイドの認知度を高めていく必要があります。神戸のまちのボランティアガイドの活動にも反映できる点があり、観光振興の視点から提言をしていきたいと思ひます。



平成21年12月 加計呂麻バス有限会社・鹿児島県大島郡瀬戸内町

交通

加計呂麻バス有限会社は、奄美大島の離島である加計呂麻島で路線バスを運行する会社です。昭和55年に島民の念願で開通しましたが、当時人口1700人の島での採算は困難を極め、たった2年後の昭和57年に旧会社は倒産しましたが、運転手たちが「生活路線は消滅させない」と経営を引き継ぎ、加計呂麻バス有限会社として再スタートしました。老朽化した車体を手入れしながら6路線を維持して運営する路線バス事業は、併行して実施している観光バス事業より売上が少ない実態です。



これまでも幾度となく経営危機に陥りながらも、徹底した節約や車両の更新、人件費の見直しなど、粘り強い活動と故郷を守る強い信念で、地域住民と共に「みんなのバス」は今も走り続けています。

今後とも、さまざまな都市の事例も研究し、過疎化の進行や少子高齢化の進展、バス路線の廃止・縮小などにより生活交通の確保が大きな課題となっている地域への理解を深めるための参考にしていきたいと思ひます。

平成20年～21年 神戸市会の議会改革に向けて 三重県、浜松市、蔵王町など18都市

議会改革

民主党神戸市会議員団は、地方分権・地域主権への流れが進む中で、議会機能の強化・議会改革を図るべく、約2年間にわたって、政令指定都市をはじめ先進都市の事例を調査してきました。調査で明らかになった特徴点は次のようなものです。



①会派代表質疑は交渉会派に限っている。②議員個人による一般質疑・質問を導入している。③質疑・質問形式では、一括質問・一括答弁形式を採用している。④本会議での代表質疑・質問は4～5日程度設けている。⑤議案精読日を設けている。⑥請願・陳情の審査の在り方では、口頭陳述は行わないで書面審査になっている。一部で参考人招致の制度を設けている。⑦会議出席者(説明員)は関係当局(関係者)に限る。⑧対面発言席を設けている。⑨傍聴席から質疑者の様子が分かるように議長席の横にスクリーンを設けている。⑩質疑残時間表示装置を設置しているなど。

今後の改革の基本は、①議会の機能を強化するものとなること。②市民サービスの向上につながる。③経費の大きな増加とならないこととします。

平成21年12月 神戸市立医療センター 新中央市民病院モデルルームを見学

医療

平成22年度中の施設完成を目標に、ポートアイランド第2期(先端医療センター前駅)への移転・新築を進めている中央市民病院のモデルルームを見学しました。医療スタッフ等を対象に、設計、品質の確認や検証を行うことを目的に、手術室、外来診察室、病棟スタッフステーション、病棟個室、病棟4床室のモデルルームを現地に設置しています。12月5日、6日には一般公開し、市民500名ほどの申込みもあり、関心の高さがうかがえます。



手術室

病床数は700床ですが、災害時には講堂に300床配備でき、1,000床規模での運用が可能となります。多床室ではベッドの配置で患者同士のプライバシーを守る配慮、院内感染予防のために蛇口や配水管設置位置の工夫、手術室では多くの医療機器を使用する際の配線が邪魔にならない設備など、患者、医療従事者など様々な立場の人の意見を聞きつつ設計が進められています。民主党市会議員団としては駅から病院までのスムーズな導線確保等を要望しました。

平成21年10月 神戸商工会議所との政策懇談会

産業

神戸商工会議所は、雇用・所得環境の悪化に伴う消費不況に加え、今年は特に新型インフルエンザの風評被害を受けた神戸経済のため、産業振興に関わるさまざまな事業を展開しています。

9月に神戸市に提出された「平成22年度神戸市政に対する要望書」の説明を神戸商工会議所理事小寺隆地域振興部長から受けました。その後、中西均専務理事をはじめ各担当理事と「次世代スパコン」「メディカルツーリズム」「創業・経営革新等」に取り組む企業への具体的な支援策「入札問題」「海外ビジネスミッション」「補正予算の凍結問題」などについて活発な意見交換を行いました。



神戸商工会議所からの要望と私たち民主党市会議員団の政策課題とは共通点が多く、神戸経済のさらなる発展のための課題や中小企業の活力増進が不可欠であるなど、さまざまなテーマについて再認識する機会となりました。民主党神戸市会議員団としては、こうして毎年継続している政策懇談会で、共通認識できた課題については、具体的な施策への反映を視野に入れながらさらに積極的に取り組んで参ります。